

施策 8 こどもの読書活動の推進

【現状・課題】

- 平成13年12月に「子どもの読書活動の推進に関する法律」が施行され、これに基づき、国においては「子供の読書活動の推進に関する基本的な計画」が策定されています。平成30年4月に策定された第四次計画では、発達段階に応じた取組により、読書習慣を形成することや友人同士で本を薦め合う等、読書への関心を高める取組がその改正のポイントとして掲げられています。
- 愛知県においては、平成31年2月に「愛知県子供読書活動推進計画（第四次）」が策定されており、「家庭、地域、学校等における取組の充実」と「子供読書活動推進支援の一層の充実」の2つの基本目標を掲げて各取組が推進されています。
- 本市では、法律及び国、県の推進計画に基づき、学校図書館司書の配置、施設配本サービス、ブックスタートなど、これまでの成果を引き継ぐとともに、学校と図書館の連携をさらに進め、こどもの読書活動の推進を図る必要があります。
- 中央図書館の開館に伴い、児童図書コーナー、ティーンズ図書コーナーの充実が図られました。隣接する多世代交流プラザ内のえほん図書館と連携・役割分担をし、幼児期から切れ目のない読書習慣の形成を図る必要があります。



ブックスタート



えほん図書館のおはなし会



中央図書館の児童図書コーナー



中央図書館のティーンズ図書コーナー

【 具体的な取組 】

取組	内容	担当課
ブックスタートの実施	保健センターでの4か月児健診で、絵本の読み聞かせとプレゼントを行う「ブックスタート」を継続して実施します。	図書館
こどもの発達段階に合わせた図書館資料の選書・充実	えほん図書館、中央図書館の児童図書コーナー、ティーンズ図書コーナーにより、こどもの発達段階に合わせた図書資料の選書・充実を図ります。	図書館
おすすめ本の紹介	乳幼児期、小学生期、中学生期、高校生期のそれぞれの段階に応じたおすすめの本を定期的に紹介します。	図書館
幼稚園・保育園・児童館での読書活動の推進	よりよい親子関係やこどもの豊かな心づくりのため、年齢や発達過程に合った読書活動を推進します。	幼児教育・保育課 多世代交流プラザ
1stアニバーサリー事業	子育て世代包括支援センター及び市内児童館において、1歳の誕生日の節目に絵本をプレゼントします。	子育て世代包括支援センター
図書館ボランティアの育成	図書館のおはなし会やブックスタートにご協力いただくボランティアを育成します。	図書館
おはなし会やイベントの実施	ボランティアグループによる「おはなし会」や「クリスマス会」などのイベントを実施します。	図書館
「子ども読書の日」を中心とした普及啓発活動の推進	「子ども読書の日」(4月23日)を中心に、その日から始まる「こどもの読書週間」の趣旨にふさわしい事業を実施します。	図書館
施設配本サービスの実施	幼稚園、保育園、児童クラブ、小中学校や福祉施設などへ希望される本を配送する「施設配本」サービスを継続して実施します。	図書館
学校における読書活動の推進	朝読書や読書感想文コンクール、ビブリオバトル等の実施を通じ、学校において児童生徒が読書に親しむ機会をつくれます。	学校教育課
学校図書館の運営支援	小中学校へ市立図書館から職員を派遣し、学校図書館の運営を支援します。	学校教育課 図書館
小中学生にすすめるブックリストの活用	学校と共同で作成したブックリストの図書を学校図書館に整備するとともに、児童生徒が読書記録を蓄積できるようにします。	図書館 教育総務課 学校教育課
ホームページなどによる情報提供	ホームページなどを活用し、図書館や学校図書館の活動や行事を広く市民に情報提供します。	図書館 学校教育課
学校図書館・市立図書館連絡協議会の開催	毎年開催し、情報交換や課題解決に向けての協議を行い、連携を図ります。	図書館
電子書籍の活用の検討	小中学校への電子書籍の導入について、調査・研究を進めます。	学校教育課

施策23 図書館サービスの充実

【現状・課題】

- 本市の図書館サービスは、令和3年3月27日に開館した「小牧市中央図書館」のほか、多世代交流プラザ内の「えほん図書館」、3か所の市民センターの「図書室」により、市域全体にサービス提供を行っています。
- 市民が図書館に求める機能やサービスは、時代とともに変化してきています。そのため「中央図書館」は、これまでの貸出中心の図書館から、多くの市民が望む居心地の良い滞在型の図書館への転換を図りました。
- 「中央図書館」の建設に合わせ、図書館運営のICT化を進め、ICTタグによる蔵書の管理、自動貸出機や自動返却機等の機器の導入、Wi-Fi環境の整備、タブレット端末や電子書籍の貸出しなど、利用者の利便性向上を図りました。
- 近年、本市の図書館資料の「貸出利用者数」「貸出点数」はいずれも減少傾向が続いていましたが、新たに開館した「中央図書館」に多くの利用者が訪れ、それに伴い「貸出利用者数」「貸出点数」が増加しています。この傾向を維持するため、引き続き来館者や貸出利用者数を増やす取組が必要です。
- 「中央図書館」には、1階にイベントスペース、4階に多目的室があり、多くの市民が参加できるイベントの開催や市民活動の場などとして活発に活用していく必要があります。



中央図書館のイベントスペース



SDGsに関する展示コーナー

【 具体的な取組 】

取組	内容	担当課
図書館資料の充実	幼児から高齢者まで、また、障がい者、外国人など、すべての市民に対応できる多種多様な資料を整備します。また、信長文庫や象山文庫などの郷土資料のデジタル化や貴重な資料の保存に努めます。	図書館
レファレンスサービスの充実	市民の日常生活や趣味、仕事に関する様々な課題を解決するため、資料や調べものに役立つデータベースなどにより適切な情報の提供を行います。また、メールによるレファレンスを実施します。	図書館
展示、企画コーナーの充実	市民の日常生活や教養、時事に関するテーマで図書を紹介します。また、令和3年度に本市が「SDGs未来都市」として国から選定されたことに合わせ、SDGsに関する各分野の資料を紹介します。	図書館
イベントの充実	図書館主催の事業に加え、市民活動団体等との連携により、多くの市民が参加できるイベントの充実を図ります。	図書館
障がい者サービスの実施	様々な障がいのある市民が図書館資料を利用できるように、障がい者サービスの実施に取り組みます。	図書館
図書館・各図書室等の連携	各施設の役割に応じて、適切な図書館サービスを提供できるよう、バックアップ体制やネットワークの強化に努めます。	図書館
電子図書館の充実	図書館に来館しなくても、読書を楽しんでいただくためにホームページ上に「こまき電子図書館」を中央図書館の開館と同時に開設しました。貸出等利用状況を見ながら資料の充実を図ります。	図書館



中央図書館